

# 地域リハビリテーション出前講座 の実施状況について



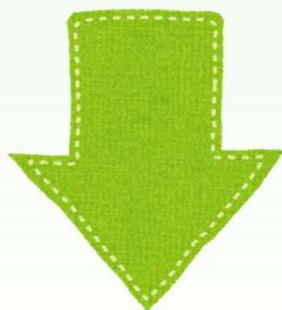
千葉県マスコットキャラクター  
チーバくん

令和5年3月  
千葉県健康福祉部  
健康づくり支援課

# 1 実施の経緯

「千葉県における今後の地域リハビリテーション支援体制のあり方に関する報告書」(平成27年度作成)

⇒⇒⇒ 地域組織や教育機関への働きかけが重要



国立・私立を含む県内のすべての小学校  
に通う5年生～6年生を対象として出前講座を実施

## 2 目的

-  あらゆる人々が安心して暮らすことの出来る地域社会の実現に向け 子供の頃から高齢者や障がいのある方の特徴を理解 することが望ましい。
-  そのためには、子供たちが地域リハビリテーションを学ぶ場を 教育機関が積極的に設けることが重要 である。
-  希望する小学校にリハビリテーション専門職を派遣することにより、子供たちに地域リハビリテーションへの理解と関心を促すことを目的とする。

### 3 これまでの実施状況

【平成28年度～平成29年度（試行）】

講師：千葉県リハビリテーション支援センターのリハビリテーション専門職

年 度	実施校数	内 容
H28年度	12校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子体験、</li> <li>● 高齢者の視力・聴力の疑似体験</li> <li>● 高齢者歩行の疑似体験</li> </ul>
H29年度	11校	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子体験、</li> <li>● リハビリテーション専門職の仕事体験※</li> </ul>



※リハビリテーション専門職の仕事体験は理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の仕事内容を知るとともに、補助具等を使用している場面を体験する内容。

### 3 これまでの実施状況

【平成30年度～（本格実施）】

講師：各地域リハビリテーション広域支援センターのリハビリテーション専門職

※必要に応じて千葉県リハビリテーション支援センターやちば地域リハ・パートナー等も参加

年 度	実施校数	内 容
H30年度	7校	● 車椅子体験
R元年度	11校	● 車椅子体験、 ● 地域の健康づくり体験（災害時の避難所支援）
R2年度	2校	● 車椅子体験 ● 高齢者疑似体験 ● 介助体験
R3年度	4校	● 車椅子体験 ● 地域の健康づくり体験

等



## 4 今年度の実施状況

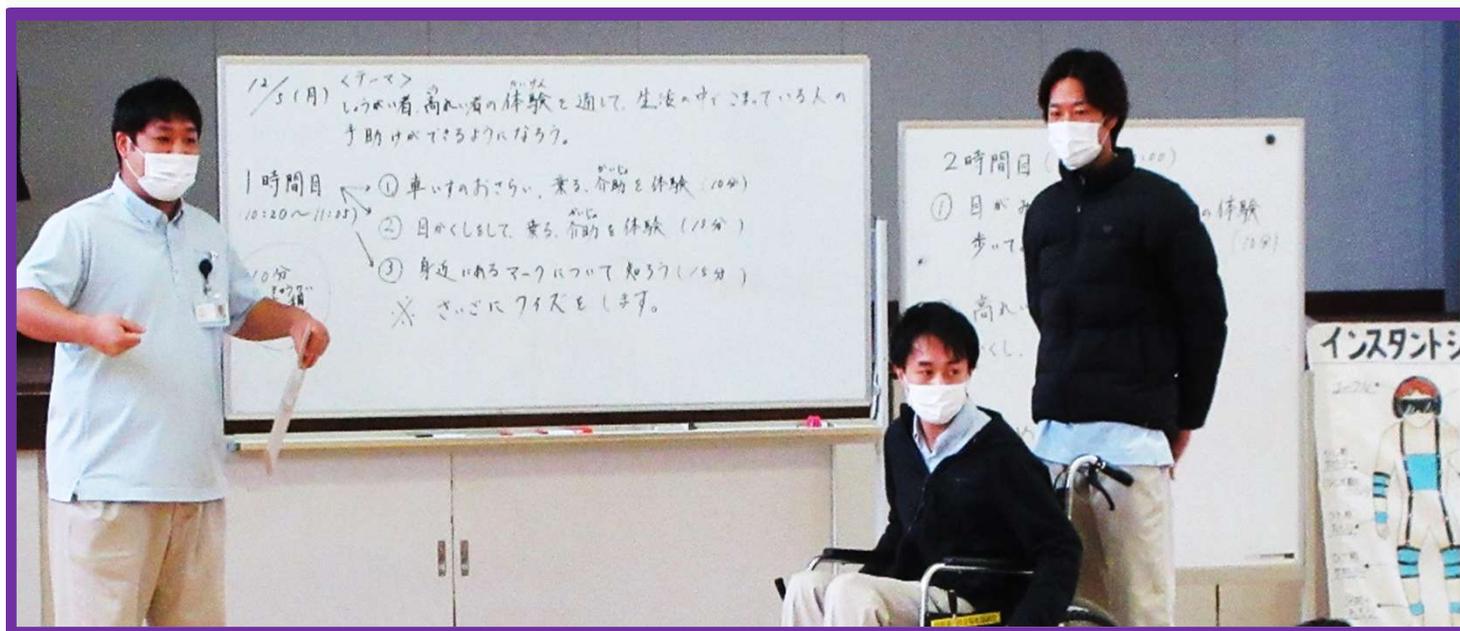
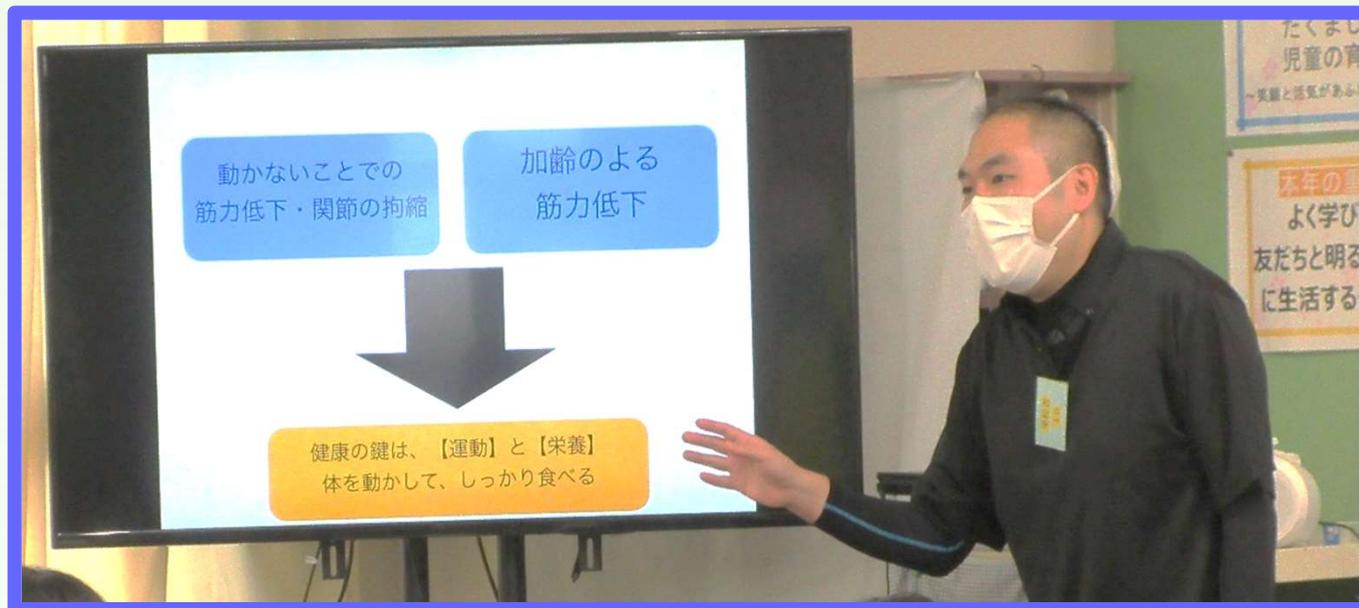
圏 域	市町村	実施校数	対 象	内 容
東葛南部	習志野市	1校	5～6年生	避難所での健康増進について
印 旛	富里市	1校	4年生	車椅子体験・介助体験
	四街道市	1校	4年生	車椅子体験・介助体験
山武長生夷隅	勝浦市	1校	5～6年生	車椅子体験・介助体験
	計	4校		

## 5 実施風景

習志野市

R4.10.14

「避難所での健康増進について」



四街道市

R4.12.5

「車椅子体験・介助体験」

## 6 実施校の感想

### 勝浦市 (車椅子体験・介助体験)

普段子どもたちは車椅子に触れる機会はほとんどなく、今回が初めての子が多いと思う。車椅子を自分で動かしたり、介助者になったりして、それぞれの立場にたって考えることができた。

### 富里市 (車椅子体験・介助体験)

今回、車椅子体験で目隠しやマットなど体験した。相手の立場になって、助け合おうとする心を育てるというねらいがある程度達成された。事後指導での児童の振り返りに変化がみられ、理解がある程度進んだと思う。

## 7 最後に

- 令和2年度以降、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施校が減少している。
- 今後は、令和元年度以前の水準に回復することが予想される。
- しかしながら、現状の出前講座の手法にとらわれることなく、今後の出前講座がより良いものとなるよう様々な手法を検討していきたい。

